

2022.9.25 常任理事会

2022.10.3 理事会

1. 概要

9月23日（祝・金）に五月山体育館会場において行われた3部リーグ戦の、大阪電通大学 vs 大阪公立大学のゲームの途中において、大阪公立大学の NO.17 として出場している選手が本人ではなく、連盟登録、大会エントリーがされていない別の選手であることが、大会運営にあたっていた学連員の指摘で発覚した。

当該選手は、事態発覚の時点でベンチから退場を求め、試合終了後に事情をきくこととして、試合は継続して行った。

試合終了後、会場責任者として詰めていた丸岡理事長が、大阪公立大学チームに帯同していた A コーチに事情を確認する面談を行った。丸岡理事長は、大会運営の根幹に相当するきわめて深刻な事態であることを伝えたうえで、猛省を促すとともに顛末の報告を求めた。

A コーチより、

- ①このような事態を引き起こしたことへのお詫びとどのような措置でも受け入れること
- ②出場した選手は、連盟登録、大会エントリーについて学連に一切相談を行っていないこと
- ③NO.17 の選手は出場予定がないので、他の選手と入れ替わって出て出場することとし、仮にそれが発覚してもテクニカルファールを取られる程度であるという部員たちの認識であったこと
- ④この取り扱いは9月17日開催の試合でも行っていたこと
- ⑤入れ替わった選手は入館時の健康チェックも NO.17 の学生の名前で入館していたこと
- ⑥A コーチは日常指導を行っていないため、この入れ替わりに気づいていなかったこと
- ⑦試合後の指導により、学生は非常に重大な事態を引き起こしたことを認識していることが述べられ、真摯に反省し連盟の指示に全面的に従う旨報告された。

2. 常任理事会（9/25）として決定したリーグ戦に関する措置

- ・理事長は、これを受けて、リーグ戦の運営上重大な事態と判断し、9月25日に臨時常任理事会を開催して審議することを決定。9月25日に予定された大阪公立大学の試合については、実施しない旨判断した。
- ・常任理事会において、種々審議のうえ、次のとおり判断した。
 - 1)異なる選手の「なりすまし出場」は、意図の良し悪しはともかく、故意におこなわれたことは、大会ルールの根幹を揺るがす重大な違反行為である。
 - 2)学生の大会であるという点を斟酌しても厳しい措置をとることで猛省を促し、二度とこのような事案を引き起こさず、今後の練習、大会に臨むことが適切である。
 - 3)以上より、すでに終了している大阪公立大学の3試合は、没収試合とする。また9月25日に設定された試合は、今後実施せず、今後予定されているすべての試合についても出場停止とする。
 - 4)大阪公立大学のチームの責任者である部長より、顛末書の提出を求め、それにもとづいて、連盟としての対応を理事会において決定する。顛末書は9月30日までに提出するように通告する。

3. チームより提出された顛末書（別紙、画面にて共有）

部長、A コーチ、主将、主務の4名連名で、9月28日付で、連盟理事長宛てに顛末書が

提出され、理事長はこれを受理した。顛末書のなかで、事の重大性を真摯に受け止め、部の活動のあり方を見直し、二度と過ちを起こさないために、これを教訓化して改善する決意が明確に示されている。

4. 理事会において決定する当連盟としての措置

<10/3 理事会にて審議>

(以上)